

第7期吉野町介護保険事業計画(案)パブリックコメント結果

■これらの質問・意見・提案（以下「意見等」と呼びます）は、パブリックコメント手続き（平成30年2月5日～平成30年2月23日）での意見募集を通じて提案されたものです。

■意見等と回答について

①「意見等の内容（全文）」は、提出されました意見等の内容を全て掲載しています。

②「考え方（回答）」は、吉野町介護保険事業計画等策定委員会の審議を経て、吉野町が作成したものです。

番号	意見等の内容(全文)	考え方(回答)
1	デイサービスを安く利用出来るように、自分たちで出来ることを考える。	介護保険の給付事業とは別に、町民の方自らが通いの場等の充実を検討し地域の繋がりを前向きに考えていただいていると受け止めさせていただきました。 少子高齢化等の問題により、町としても各地区で自治協議会設立を推進しているところですが、まさにご指摘のようなことが地域生活にとって重要になってくると考えています。今後は地域の方々とともに町全体の課題として各方面と連携しながら、住み慣れた地域で暮らし続けるための地域包括ケアシステムの充実に取り組んでいきます。
2	家事手伝い 日頃から顔なじみになり、小さな事(電球替えetc.)たのみやすいようにしておく。	このご指摘も高齢者の方が住み慣れた地域で暮らし続けるために、地域で出来ることを考えていただいていると感じております。 吉野町まちづくり基本条例や第4次吉野町総合計画後期基本計画ではそれぞれの立場での役割分担が記載されており、その役割の中で地域の繋がりを考えていただくことが今後重要になります。その点からもご意見の内容のような意識を持っていただいていることは大変有り難いことだと考えています。
3	タクシー券は重宝する。現在使用中の意見。	介護保険とは違う事業となりますが、前向きなご意見ありがとうございます。町としては、今後もニーズに応えるよう様々な事業を検討していき、町民の方が吉野町で生活をしやすい環境を整えていきたいと考えています。
4	地区でいつもOPENしているサロンがあれば良い。	地域サロンの存在は介護予防の観点からも重要なものだと考えています。現在も町民の方が自主的に行っているサロン活動に対し補助等を行っています。 今回策定している第7期介護保険事業計画の中でも「生きがいに満ちたまちづくり」として地域サロンなどの通いの場と様々な介護予防関係の事業との連携強化について記載しておりますが、今後もより活動が広がり充実するような取組みを検討していきます。
5	地区内で危険箇所を歩き、知らせる。	「安心して安全に暮らす」というのが生活の根本であると町も考えています。町総務課が各地区で進めてきた「自主防災組織」や「地区防災計画」策定に向けての取組みにおいてもご指摘の項目が重要だと認識しておりますので、今後は福祉部門と防災部門・地区の方々と連携し、安心安全の地域づくりを進めていきたいと考えています。 将来的には、このような町民の方が主体的に動いてくださる様々な取組みも介護保険事業計画にも盛り込んでいくよう検討していきます。